

一般廃棄物最終処分場等調査 対策特別委員会 中間報告

本定例会最終日に、第10回から第13回までの調査に関する当委員会の中間報告が行われました。要旨は次のとおりです。

8月22日の第11回特別委員会では、一般廃棄物最終処分場の適正化工事にあたって、地元の大野地区から市に要望のあった6項目について、その大半が検討中ということが明らかになった。具体的なスケジュールのないものもあり、地元で誠意を示す意味でも早急な対応が必要ではないかと強く、ただ意見も委員から出たが、市は、最終処分場の安定化工事を最優先で進めているという説明であった。

11月27日の第13回特別委員会では、活発な議論を経て、次の2点を集約事項とした。

- ・再生事業と適正化、増設事業の方針決定については、現行

の適正化工事に影響が出るため、市長が中心となって地元協議を行い、早く結論を出すこと。

- ・地元対応について、これまで誠意のある対応があったとは認め難く、地元の理解を得ることや方針を早期に出すことを強く要望する。

また、当日の委員会では、次期ごみ処理施設の処理方法を3案に絞り込んだ、糸魚川市ごみ処理施設あり方検討委員会の報告が示され、市は、どの方式で整備するかを早急に検討していくとのことであった。委員からは、現在関係している地区の代表者の参画や、ごみ処理施設の整備場所の再検討の必要性などの意見が出され、市は今後の検討課題として、議会も含め議論を続けていくとの意向を示している。

糸魚川市・小谷村・白馬村 議会議員連絡協議会



この協議会は、地方自治行政の健全な発展を目的に設置していた小谷村と当市議会の協議会に、同じく国道148号及びJR大糸線の沿線自治体である長野県白馬村議会にも参加を呼びかけ、新たに発足したものです。その最初の協議会が10月30日、ヒスイ王国館で開催されました(写真)。

当日は、1市2村の地域生活、地域経済に極めて重要な路線である地域高規格道路松本系

魚川連絡道路について、その早期着工を強く願う共同決議を行ったほか、北陸新幹線開業後の地域活性化策などについての研修を行いました。

4市2町並行在来線 正副委員長会議

これは、北陸新幹線開業後にJRから経営分離される北陸本線の運営等について、当市と富山県東部の4市2町の議会が合同で協議を行うものです。構成員は魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町と当市の各議会の在来線問題を所管する委員会の正副委員長で、当市は、当初はオブザーバーとして参加し、平成24年8月から正式に参加しています。

11月6日には、両県の相互乗入れやJRからの資産譲渡についてなど、これまでの協議内容を4市2町議会の連名で集約した要望書を、富山県に提出しました。

4市2町議会では、並行在来線の利便性向上等を目指して、今後とも協議を進めていく考えです。